京城日報
十六日夕刊（翌夕刊併せて一頁）

○土國休戰條約廢棄　露國輸送船擊沈さる

土耳其は露國との休戰條約を廢棄し二萬の兵をトレビゾンドの東方に上陸せしめたり尚露國輸送船一隻は該潜航艇の爲め擊沈されたり（露都電報）

○獨墺露休戰延期

獨墺對露國の休戰は一ケ月十八日迄延期されたり（露都電報）

○俘虜露制服を著す

露都に於ける獨墺俘虜は益々其の數を增し彼等は露國の制服を著して市街を濶歩し居れり（露都電報）

○獨逸兵銃殺さる

東部戰線に於ける獨逸兵二百五十名は西部戰線への異動を肯せざる爲め銃殺されたり尚暴動は漸次擴大しつゝあり（倫敦電報）

○墨西哥特使渡日　軍需品購入の爲め

墨西哥より日本に特派さるゝ使節は日本汽船に搭乘桑港に寄港せり特使は軍需品購入の爲派遣さるゝものなり（桑港電報）

○驅逐艦進水式

驅逐艦欅は十五日佐世保海軍工廠にて進水式を擧行せり（佐世保電報）

○東洋製鐵合併

久原房之助氏經營の製鐵事業は今回一千萬圓の株式會社とし會社成立の上は直ちに東洋製鐵會社と合併し兩社併せて四千萬圓の資本金とし行惱みつゝありし東洋製鐵の敷地は久原氏の爰に選定せる戶畑に決定せり（東京特電）

○昌德宮午餐會

李王殿下には十八日午後零時三十分より昌德宮仁政殿に於て世子殿下の爲めに午餐會の御催あり長谷川總督、山縣政務總監、松川軍司令官、在京各勅任官及び朝鮮貴族等に對し閔長官の名を以て夫々案內ありたり

○王世子御動靜（第五日）

李王世子殿下は十七日洪陵及び裕陵に參拜歸途昌德宮に赴かるゝ御豫定につき午前中成寧殿に伺候せられ李太王殿下に御挨拶の上午後零時三十分前日の如き列次にて隨員の外御親戚貴族代表者之に隨ひ德壽宮大漢門發、一時十分東大門外洪陵に著せられ參拜あり同三時四十分發御裕陵に赴かれ同四時二十分參拜同五時裕陵發昌德宮に到り樂善齋內殿に於て李王同妃李埈公李熹公各殿下に御對顏あり夫れより同六時昌德宮植物園本館に於て各殿下の內宴を催さるゝ由なるが此の宴席には李王職勅任官及び同夫人御近親者並に世子附各高等官陪席すべしと而して午後八時撤宴と共に殿下御一行は自動車にて敦化門發、德壽宮に御還和成るべしと

○勳章授與式

松川軍司令官は十五日午前十一時軍司令部に於て客臘二十四日附を以て勳三等に敍せられ瑞寶章を授けられたる栗原重平中佐に對し勳章授與式を擧行したるが竹內副官、古城副官正裝陪席せり

○朝鮮關稅收入

大正六年四月より十二月に至る總督府關稅收入は輸移出稅七十五萬五千六百二十九圓輸移入稅六百二十三萬三千八百三十七圓噸稅雜收入合計七百二十萬一千四百九十九圓にして之れを前年の五百三十二萬圓に比すれば百八十八萬圓の增收を示し居れり

○鮮銀株主總會

朝鮮銀行にては來る二月十八日東京銀行集會所に於て株主定時總會を開き大正六年度下半期決算報告並に利益金分配案を附議する由なるが同時に滿期となる監事服部金太郎氏の改選をも行ふべし

○鮮銀上海支店　四月上旬開店の豫定

朝鮮銀行の上海支店は夙に同行にて新設の計畫ありしが愈々來る四月より開店の豫定にて目下手續中なるが同店の支店長には前大連支店長橋本萬之助氏就任すべく、氏の上海出張は其の前提なり尚ほ橋本氏は先年臺灣銀行上海支店副支配人として同地に在任せし事ありと

○土地調查委員會

十六日午後一時三十分より總督府第二會議室に於て高等土地調查委員會を開催せり

○炭價調節は可能　＝滿鐵豫算は査定中＝來年度は格別の新計畫無し＝

滿鐵理事　川上俊彥氏談

[illegible]

▲困つた兩隣　東支鐵道を支那が買收するといふ問題か、アレは出來ぬ相談だ[illegible]第一誰れと相談するか、露國側には相談相手が無いじやないか、支那側だつて今の狀態では如何とも[illegible]

▲來年度豫算　滿鐵來年度豫算は各部共皆な出揃つて目下査定中であるが、孰れも斯く爲た然なきだに時局の關係上經費は膨脹する譯だから、豫算も大分膨脹する譯だが、何程の度合で査定するか、政府は只其査定案を何う修正するか、夫等は今後の問題だ、但し豫算案中に大した新規事業が含まれて無いこと丈けは茲で明言が出來る。

▲吉長線管理　問題に就て支那側から苦情を申込むで來たのは事實だが「今更承知仕ろ」と云ふ事が出來るものかね、當方は契約通り事を運ぶのみだ、滿鐵會社を代表して村田君が同線管理の權を總べて、技術方面も經理も亦滿鐵系統の者をして司らしめて居る、之れは支那側が何と云つても動かせるものぢやない、當初から分り切つたことだのに省議會などが人氣攬りに詰らぬ問題を担ね廻するから困る。

[illegible]まい、處で哈爾賓に出動した支那兵は一寸甘く行つたが、記者ではでは少々露人の方で砲が來たらしい風も見える、其原因は同市が穩かに成つたので、急速過ぎて支那兵の態度を見ると何だかシヤラ臭いといふ氣も起らうし、又支那兵の規律にもまた申分があるかも知れない

▲炭價の調節　朝鮮は石炭の價格が高價で一般に困難して居るが安東縣から先きは大に樂な樣だと云はれるのか、成程困りであらうが、其は朝鮮に於ける價格が法外に高いのでは無くて、從來の行懸りから滿洲では頁迴に安く供給してゐる、當役は營業部の者で無いから責任ある答へは出來ないが鐵道の關係も漸く統一された今日、何とか價格調節の餘地はあらうと思ふ

[illegible]東四地に於ける[illegible]銀行の事務引繼ぎは圓滿に終了し取立てゝ[illegible]る事もなし、唯各地の官民は從來[illegible]の店長が老實の人のみなりしに對し[illegible]は青年若くは壯年者を以て之れに當らしむるを[illegible]に過ぎず

▲中國銀行支店　支那中國銀行にて來る三月頃より大連支店を開設するやう聞けり。予は未だ其の設立理由を聞かず又支店長にも會見せざるが大連に於ける支那商のため圖るものならん乎[illegible]

○京商評議員會

[illegible]十八日午後二時[illegible]評議員會を開き[illegible]決議を附議[illegible]

○鮮銀券發行週報

[illegible]

○鮮銀會議續行

[illegible]

○大塚參事官東上

[illegible]

○川上滿鐵理事通過

[illegible]

○フレザー氏入京

[illegible]

○金資金の需要盛　滿洲に於ける總貸出四千萬圓

鮮銀理事　大田三郎氏談

十五日入京せし鮮銀滿洲[illegible]大田三郎氏の語る所に依れば

滿洲も昨今特産の出廻り多く從て大中最も活氣ある季節なるが從て大に於て景氣も良好なるに似たり

▲金資金の需要　昨今滿洲にては銀商と銀資金缺乏其他の結果金資金の需要は日增し旺盛を呈し目下の所各銀行の貸出しに係る金資金は約四千萬圓見當にして右の中二千二百萬圓は朝鮮銀行各店の貸出したり更に銀資金は凡そ如何の程の貸出を見居るやと云ふに漸減の狀態にて約一千五六百萬圓なるべし、而して正隆銀行の如きは銀資金缺乏のため銀の貸出を殆んど控へ居るやうなり

▲手形交換所　大連には九行存在し居るも未だ手形交換所の設けなく鮮銀支店にて簡易に之れを行ひ居れり、然るに一日の手形交換高は五十萬圓乃至六十萬圓にして京城の四十萬圓を超過し居り殊に昨冬の如きは一日二百五十萬圓に及びたる事あり故に斯くては不便少なからざるに付目下[illegible]

▲四店の引繼　旅順遼陽鐵嶺[illegible]手形交換所新設の計畫を[illegible]め居れるが早晩實現すべし

□耐寒の設備は民族發展に必要　楚山に到る（二）

立花將軍談

江上鎭にて十二月十七日より三師團の中間滯在を爲したる一行は二十日朝名殘りを惜しみつゝ渡洞に向つた既に十二月も下旬に入れる事とて江上の結氷稍々堅く

▽江上橇を走らす　事も出來る、されどまだ所々に氷結の堅きを見るのみにて橇道の通せるものなく唯だ馬橇を驅つて江岸安全の域を進むのみであるが仍ち或は江上に走り或は陸路山間に逍遙しつゝ猛然馬賊の襲來を受けし民城里より稍南方に位置せる峻坂、早栗嶺と言ふに懸る、時に積雪深うして

▽橇と馬とを　用ふる能はず馬を驅れば其の急峻なる峰に驅かれて馬倒るゝ即ち峻坂を然るので遂に有樣、漸くにして渡洞に著きしは日全く暮れに近く河屋寒き夢の夜であつた、渡洞は憲兵所の所在地で屢々對岸の馬賊より射擊を受くと言ふ、一泊の後未明に出立し再び支那領に入り三度新地を踏んで十里の行程江上に山間を横ぎつて夜九時半滿城里即ち今の鄭浦鎭に到著、其れより滿浦鎭に向つて進行を續けたが其の間玉堂と言ふ所に一泊した玉堂の對岸は所謂黃白站子といふとこで昨年九月馬賊の横暴に據り我が憲兵が空しく斃された跡である二十二日

▽滿浦鎭に著　し守備隊の檢閱を終つて翌二十三日江界に向ふ

[illegible]江界に著した、江界は[illegible]に於ける大都邑にして滿浦鎭、厚昌、熙川に通ずる道路の交叉點で近時郡廳、憲兵分遣所、營林廠の出張所等の所在地となつて[illegible]集散地をなつてゐる從つて治安も亦良好である二十七日江界を出發し西倉より山間に沿ひて下ること四里、到つた魚雷房は憲兵の出張所で憲兵上等兵一人と其の家族の居住地である翌未明

▽魚雷房を出　で渭川を經り、渭原に向ふ、此日近路を辿りし爲め日出四時半渭原に著する事を得た、渭原は荒廢せる舊城趾で周圍の地形頗る壯大而かも風光極めて佳麗の地である、斯くて再び江上を走つたが僅かに三十米突鴨江の水門とも稱すべき奇景二箇所を通過して漸く楚山に到著した

農商務省編纂
內外商工時報
新年號要目
北米シヤトル市の近況（一冊廿錢送料一錢五厘）
邏羅に於ける有望投資事業
紐育に於ける水產市況
新嘉坡水產市況
支那南部省綿紡織業
瓜哇に於ける食料品の需要
南加サンチヤーゴ郡の鹽業
澳口に於ける桐油事情
米國に於ける家具仕上用材
營口に於ける過爐銀の將來
本邦玩具製造の現況
商品調查（輸出花筵・皮革・卷煙紙・レース）
海外商人直接取引紹介
印度に於ける燐寸工業●安東の大豆粕
東京市京橋區築地二ノ一
內外商工時報發行所

謹啓各位倍々御清穆奉賀候扨而弊店儀每々御引立に預り難有厚く御禮申上候就而者從來二個の電話を使用致居候處店務繁忙を極め候爲め各位御通話の不便不尠と存じ今般更に一四四番を新規增設仕候間何卒倍舊御引立御用命の程偏に奉願上候
仁川米豆取引所仲買
仲買店
電話長九〇五〇、八三二番　新設（一四四）番　電略（カク）又は（ナ）

恩給年金
特別立替　月利壹圓
湊屋兩替店

拜啓昨夜失火之際は早速御馳付被下以御陰大事に至らず鎭火仕候且又不一方御配慮を煩し奉深謝候一々拜趨御禮可申述筈の處尊名伺洩も難計不取敢以紙上御禮申上候　敬白
一月十六日
大和町七星洞
鈴木繰綿工場

謹告
室內には舞踏の設備あり
講會碁會及組合及會社等の相談の場合
遊藝會溫習會。結婚祝儀の場合。請し料理等は御好みに依り京城有名の料理店と特約仕り早速持參仕可候
京城南大門集會所　電話一五七四番
擔任者　梶澤末藏

御料理仕出し
天ぷら天丼
親子丼鍋燒
賣藥雜貨等販賣仕候
京城南大門　福島屋　電話一五七四番

小鳥捕用　カスミ網
（極上絹糸製）其他雁鴨兎網無双網等種々あり
京城永樂町二丁目　吉備商會

株式會社第一銀行支店
資本金　二二、七〇〇、〇〇〇圓
積立金　一一、三〇〇、〇〇〇圓
諸預金　一八八、〇〇〇、〇〇〇圓
支配人　西村道彥
京城府本町二丁目（振替貯金京城一二番）

貴族婦人御接見

◇李王世子殿下◇ 十六日石造殿にて

李王世子殿下には十六日午前十一時動車、馬車、人力車又は轎輿にて[illegible]三十分徳壽宮石造殿接見室に於て徳壽宮大漢門より參内する貴夫人[illegible]を接したまへる[illegible]御親戚貴族の夫人拝[illegible]人各子の代夫人官總督府[illegible]官夫人外各事務官技師夫人並[illegible]閔長官、[illegible]府次官、武[illegible]調[illegible]官、[illegible]本[illegible]、田中秘書[illegible]等諸夫人[illegible]引見せられ[illegible]ありたるを以て定刻前より自[illegible]

讓躬四拜興平身

◇世子殿下御參廟◇

李王世子殿下には十六日午後一時より宗廟御展謁の儀執り行はせら[illegible]る、之より先殿下には午後一時[illegible]濬明殿徳壽宮に李王殿下を御訪問[illegible]の上御同列にて宗廟御展謁の豫定なりしも李王殿下には御風邪の氣味にて打臥させ給ひしより直ちに御退出馬車を驅つて宗廟に向はれたり、宗廟に御到著ありし殿下には參班員の御案内にて

◇翼善冠を冠らせ◇

[illegible]

◇古錆し甃みに◇

粛々と歩を運ばせられ齋殿に入つて御禮服に召替へさせ給ふ、斯くて午後一時半殿下には黒の袞服に[illegible]

◇御接見を 終りて石造殿より退出する内鮮貴婦人及び女官

[illegible]に盲動せる國民

現在の露國の國状は不可解と云ふより外に何とも云へないからだ[illegible]の不可解なるものは他國人にのみ不可解であるかと云ふと決して左様ではない露國人自身にも不可解であるからである、現在の露國人は恰も夢遊病者が飛んだり跳ねたりするが如く或は精神病者が無意識の間に論議し行動するかの如き域を脱する能はず[illegible]熱病患者が熱が昂騰した場合には盛んに囈語を放し下降すればケロリとしてゐるが如き有様である

圓山師重態

[illegible]

浦鹽露亞銀行の金庫を引き渡せ

◇其命令が何處から出たか◇兵隊も烏合の衆と同じ◇

✕不可解の間

[illegible]

✕金庫を引き

[illegible]

✕不可解の質

[illegible]

✕赤色近衛兵

[illegible]

✕日本人は絶對

[illegible]

僧侶の特志

窮民救助の醵金

[illegible]

✕危險だ

[illegible]

翌日付氷が張る

◇三十八度を下る◇

[illegible]

氷が張る

[illegible]

猛烈な低温

[illegible]

朝鮮永消人會開催

[illegible]

健人　鍾[illegible]で

[illegible]

攝心會見參記

■生死問題の解決だ

[illegible]む、續いて曉山、翠雲、鐵牛などの居士連が一人々々立つて一列縦隊に共衣に坐る。奥の離れから鈴の音だらうガラン〳〵と鳴り渡ると鐘を一つ強く打つて一人〳〵静かに進む。間もなく先に進んだものから順次に跪つて居る。誰も彼[illegible]

◎生死問題の 解決だサー

請めろ〳〵と激勵的言葉が遠慮もなく起つて來る。この激勵の聲釋にも何にも分らぬ我輩までが大いに緊張の氣分になつて來る。それから一つ御參考に申して置くが進む時は合掌退く時は叉手と云つて[illegible]

[illegible]た老師の顔が[illegible]胸を[illegible]射たかと思ふ[illegible]ひ出して眞向きに見て居るこつちも[illegible]が出來ぬ[illegible]アンタ初めて見るやうなや禪の修業でもする積りかい。禪の修行は中々骨が折れるよ、並大抵の辛棒では出來んからナ、能く考へて確かり決心を極めてから遣つたらよからう。納の處には隨分色々な人が來るが最初は如何に[illegible]

◎堅い決心を したさうだ

[illegible]ことを云ふが多くは續かん。[illegible]ナーほんたうに修行する積りで[illegible]を折るさへ止められぬことにな[illegible]ものかや、大いに遣つて見る積りで[illegible]からう。禪の宗行には大道徹見の方法として公案を云ふものを授けるが數へると云ふとは一切しない皆自分の腹の中から錬り出さにやならぬから骨も折れるよ、アンタはまだ學者が出來て居ないから[illegible]分數息觀を遣つたらよからう[illegible]

（一記者）

主家荒しの通譯

[illegible]

兄弟とも罹病

[illegible]

商況

東京期米　[illegible]

兵庫期米　[illegible]

深川正米　[illegible]

大阪定期米　[illegible]

大阪三品[illegible]

綿絲布小戻す

[illegible]

三品先物十一圓

[illegible]

十五錢方

[illegible]

呉服物品豫想

等一日〳〵強硬

夏物の豫約取組

[illegible]

染料強見込み

[illegible]

大阪期米

△十六日後場 八節當二十圓先五十七八錢と持合ひ四節中ゞ七錢先七錢と不動の儘打止めたり

十六日の三月限

[illegible]

天氣

晴れ

下關稻場

[illegible]

生魚市場

[illegible]

仁川取引所

十六日の三月限

[illegible]

釜山穀物

[illegible]

仲買店

[illegible]

●命令航路豫算

新航路西海口

關東都督府にては大正七年度に於ける命令航路補助費豫算額を七萬八千餘圓と計上し大正六年度に比して大なる相違なく其の主要線は大連を起點とする天津、安東縣間にして大連汽船の天潮、濟通の二艘を就航する事となり

▲柳樹屯の線は 鐵丸就航し貔子窩線は排天丸、龍口線は利濟丸、青島線は[illegible]を配船し夫れ就航する事となり更に阿波共同は第二十一共同丸此の他第十[illegible]同の受命線芝罘、仁川の[illegible]航同は芝罘、青島間及び安東、[illegible]登州等の航路に從事する事となれるが以上は大正六年度の航路と殆ど同一にして

▲新規航路出願 は阿波共同の渤海灣內の西海口線にして同航路は昨年實地踏査を行ひ山東及び遼東半島と蒙古貿易を接續せしむべき唯一の徑路なるが唯同地は開港場に非ざるを以て實施するまでには支那當局と交渉を必要とし多少の時日を要するべし

▲西海口付遼西 第一の集散市場たる錦州を距る事僅かに六十支那里にして天橋廠と稱し錦州東南八十支那里にある龍王廟の南の河口に對して西海口の名あり港內は水淺くして汽船の寄港地としては完全ならざるも戎克貿易港としては早くより名を知られ山東、寧波、潮州等の戎克盛んに出入し

▲取引甚だ殷盛 なり又錦州を經由する蒙古產物の山東輸出港としては必ず西海口に出で就中穀物移輸出向けらるゝもの約二割直隸方面約二割なるに對し西海口經由山東輸出は三割以上を占め居れり隨つて京奉線錦州對營口の關係は錦州對西海口の關係に重大なる影響あり特に營口は河北驛を通じて京奉線に依るの不便あり西海口航路の新開に依り營口は多少の打撃を免れざるべし（大連）

◎吉長反對に就て

唯一部の議論のみ

吉林支那人の間に吉長鐵道引繼ぎに關する反對の保路會なるものが設立せられたる事に就て在大連某氏は語つて曰く、吉長鐵道は明治四十年四月十五日即ち光緒三十三年三月三日の協約及び明治四十一年十一月十二日即ち光緒三十四年十月十九日の同續約の規定に基き[illegible]借款成立し同鐵道は日支間に特別の關係を有したるも[illegible]成績[illegible]に依れば同鐵道の經營は甚だ其の當を得ざるものあり支那政府も茲に著目する所あり大正六年に至り更に該鐵道借款を增額すると同時に客冬北京に於て滿鐵代表者と支那政府代表者との間に借款改訂成立の結果其の經營を滿鐵會社に委任する事となり大正七年一月一日より之が引繼を受け滿鐵會社代表者は[illegible]利に由り漸次內部の改善に著手せるを以て從來同鐵道をして甚だ不成績に居らしめたる原因の[illegible]に反對せんとする[illegible]を列ねて中央に電照する等の態度を演出したるものなるが[illegible]等の反對は今後如何なる程度に達するや知らずと雖も單に一部の議論と目せらるゝのみ

◎卅師案進捗す

投降宗匪一千名來奉せん

奉天督軍より南北問題に武力の解決の道なければ奉天は二十七、八兩師團より各一旅を選拔して一師を編成衛下せしむべく之れが補充として陸軍第三十師を編成し度旨を中央に電請せし事已報せしが現在陸軍三個師團の兵力を擁して關外に雄飛せる張作霖氏は更に一師を增編するの機會を捉へ目下準備進捗中なり其內容の大體は許蘭州氏の部兵を根基とし之れに今度來降したる蒙匪中の精鋭一千餘人を加へ更に第二十九師に編成したる際殘留せる後路の各科隊をも加へて一師に充足せんとする者の如し唯だ問題は經費の一點なるも野心燃ゆるが如き張督軍は此機會を逸する者に非らざると且つ投降蒙匪の處置上之れが遂行を必せんとせる者の如し其內容の如きも成立迄には幾分の曲折變遷ある者と見ざるを得ず

◎蒙匪善後解決

吳師長來奉

吳師長の下に投誠せる蒙匪の善後策に就き張督軍より王參謀を派遣し吳師長と協同處置中なりし處其解散歸鄕せしむべき者は歸鄕せしめ收容すべきは收容して今や全く解決したるを以て吳師長及び王參謀其他各旅團長等は十日鄭家屯に著し十一日鄭家屯發來奉すべき旨當地某所に來電ありたり

◎興京討匪續聞

興京地方に蜂起したる匪徒は東邊一帶の匪徒と聯絡して其數數千に上り勢ひ頗る猖獗にして附近駐箚の軍隊[illegible]聯合討伐に向ひたるも容易に平定し難く派兵援助の急電頻りなるより張督軍は更に二十七師[illegible]營長に陸軍一營及び機關銃數門を携帶急遽討伐に向はしめたり

◎張督軍訪旅說

奉天督軍張作霖氏は歐戰時局及び日支國交の現情に鑑み近日旅順を訪問して中村都督と會見し同都督の[illegible]表謝旁々打合を行ふの意あり多數の衛兵をも帶同すべく目下準備中なりと

◎軍需統一計畫

奉天被服廠開設

奉天支那軍界は時代の進運に伴ひ軍需品供給の統一を計畫し被服廠開設の如き屢々企圖せられたる處なりしも幾多の情弊の[illegible]により容易に實現し能はざりしが今回元と二十七師に屬せし軍裝局（張督軍出資）二十九師屬の隆泉（吳師長出資）を併合し統一計畫の前提として一切情弊を排除し公署軍事課直轄の下に奉天被服廠を新設し[illegible]城東關外に開所し廠長に軍需課長儀鏡泉氏經理に潘桂庭氏副經理に[illegible]氏任命されたり

▲一時的に協定 せる彼の支那銀行調節令は危機に瀕せる支那銀行をして一層改惡危險に導く者と云ふ可し又市場物價は時局其他の影響により著るしき騰貴を告げ一方支那人生活は日に向上して其生計は徒らに膨脹したると相俟て遂に市場に[illegible]

▲金融益々逼迫 を來たす[illegible]商業資金も亦た大に[illegible]の觀あれば商業者は破産者續出せんも知る可らざる情勢なりしが目下は頗る警戒されつゝあり

◎銀債券善後

客秋奉天興業銀行に於て[illegible]の名を以て發行せる同行債券は漸く各銀行及び支那錢莊等に影響を生ずるに至りたるを以て各銀行錢莊等は該債券の善後策を講究せんとて今十二日總務商會に會合し協議したり

◎四鄭借款解決

北京特報に據れば客年より交涉中の四鄭鐵道借款は利息及び交附金全額に付ては目下[illegible]鐵路局長虞氏と北京正金銀行の間に極力交涉を進め愈々利息は年七分金銀折半を以て交附する事に決定し近く現款の授受を見る可し

◎港內警燈浮標

仁川港內[illegible]

◎支那側金融

調節令の矛盾

支那市場には過般來金融逼迫の聲喧傳せられ最近舊年關切迫と與に益々險惡の兆候を呈するに到れり之が原因は第一に昨年來實施せられたる矛盾せる金融調節令に禍せられたる事最大にして第二に物價騰貴に由る生活狀態の變化の自然の趨勢に在り

▲元來支那銀行 は多年濫發せる小洋紙幣の處置に窮し大洋紙幣採用を發案したる者なるも兌換準備金なきに於て大洋紙幣は小洋紙幣と何等異ならざる事情に到達すべきのみならず斯かる不誠實なる改惡を重ねたる結果最近に於る

▲每日四萬元宛 の兌換準備は支那各銀行に於て第一の苦痛とせられ昨年中に於ける之が損失は東三省官銀號は三四十萬元なるを發表したるが此外の各銀行も同樣の大缺損を生せり已に銀行の營業情態が如是なるを以て昨年來各銀行の貸出は

▲異常に縮少せ られ隨つて市場金融大澁滯を來たすに到れり更に此の情態を繼續し金融調節令の規定に依り該規定制限兌換期限滿了の曉には支那銀行は當然破綻の運命に遭遇せざる可からざる

◎莊大電線計畫

安東の西商莊河、大孤山間に電線架設の計畫を立て既に其筋の許可を得て安東より電柱數千本を購入したるが本春開通の豫定なりと

◎建物會社計畫

十六日協議會を開く

京城の實業家の一團は昨夏來建物會社創立の計畫をなせるは既記の如くなるが今回林長太郞氏あり、後に京城に其出張所を有する東京建物株式會社來壞し種々調査の餘極めて有利なるを確認し何れ今春四月の交具體的發表即ち出張所設置をなすべく某々氏等とそれぞれ契約を訂し歸京したるが今回商業會議所役員側にも株式組織を以て土地建物會社を創立すべき議熟し愈々十六日午後一時より商業會議所樓上に於て右一切に關する協議會を開くべく十四日計畫者の名の下に主として民間の金融業者其他貿易商に通知狀を發したるが役員側一同と云へば林長太郞氏も參加し居れば借ては同氏が昨夏來主唱者として計畫斡旋中なる建物會社事業は茲に一擲に附して役員側の計畫に參加したるものと見るべく何れは兎もあれ前記行き掛りに於[illegible]

◎鼠疫豐鎭を襲ふ

京綏鐵道運轉中止

ペストは已に豐鎭を襲ひ新患者を發生せり京綏鐵道は九日より[illegible]を停止し豐鎭、大同、張家口各處の[illegible]九日開會し外交、財政、內務部防疫委員[illegible]各部委員皆參列して防疫[illegible]大同の三處に定め各縣[illegible]を特派し交通部は軍車を要せり

◎山西鼠疫確報

保定府米國『ピレスビテリアム教會』に屬するドクトル・ハイス氏が『ペスト』調査の爲め山西に赴きたるが十日豐鎭よりピーターアイムスに寄せたる新電報として一月十日の電報に依れば同氏は歸化城附近を視察して豐鎭に歸りたるがペストは迅速に市內及び附近村落に蔓延しつゝあり東方に在る某村の如き[illegible]

◎大連より

[illegible]○現在支那には二千餘萬頭の羊が有つて其の十分一の二百餘萬頭を滿洲及び東蒙古に牧養せられて居るから之を基礎として種類の改良を[illegible]○又[illegible]羊毛は比較的高價[illegible]○滿鐵產業試驗場では公主嶺試驗場で大正二年から羊毛改良の實驗をして居るが其の結果は大正八年度に一般に公表し會社としても相當の設備の下に更に大々的に改良の施設を圖ることになつて居る○東拓會社も又斯業に關する調査を進むると同時に牧羊事業の爲めには進んで資本の貸出を行ひ度いと云つて居るから數年ならずして滿蒙に於ける我が牧羊業も大いに見るべきものがあるであらう

左甚五郎

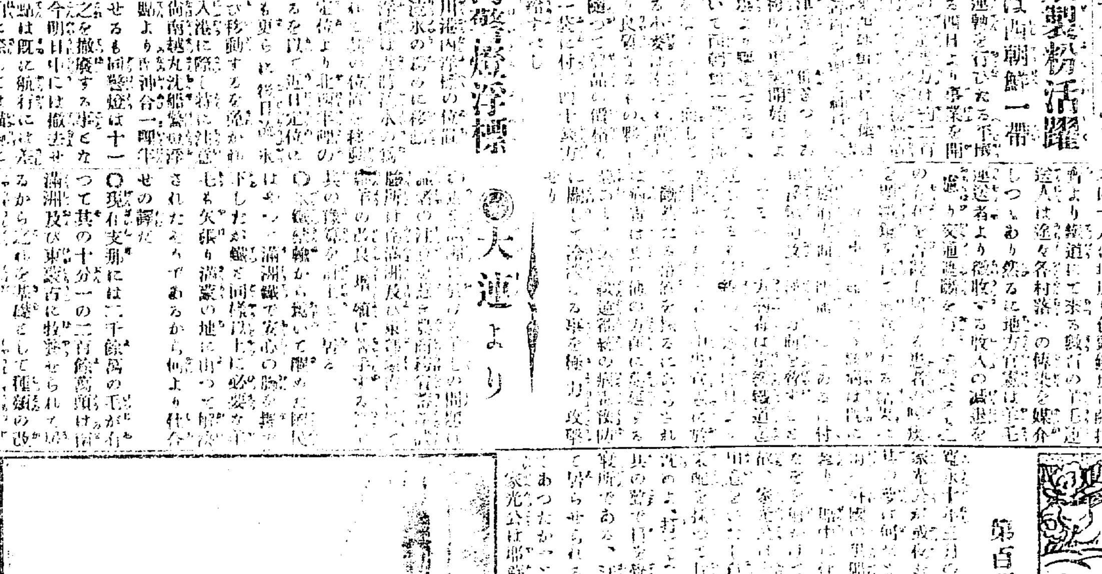
第百四十席

桃川燕林口演

浪上義三郎速記

[illegible]さんと思召して居らせられる、滿[illegible]彼の國より攻め來つた爲時には大船の用意なければ叶はぬと思召した故、御船手の向井將監を召して、此の事を仰せ聞けられました時に、大船が必要にでございますから其方船奉行となつて[illegible]りまして日本國中の船大工を召出して安宅丸といふ船を拵へることになりました、伊豆國の天城より欅を伐出して相州三崎に於て造り立てました、安宅丸は船の長さ三十一尋一尺五寸、幅十尋三尺六寸、深さ十四尋三尺、龍頭の首總體銅にて包み十三重の櫓を設けて城郭の如く、左右の船端には幅一間長さ廿六間の武者走りを造りつけ、其の節を圍ひ弓鐵砲の狹間を開け、船底には六頭立の厩あり、兵糧一萬俵を積込む、深さ七八尋の車井戸を作り其處へ飲料水を貯へ、螺旋仕掛にて水を吸ひ上げる、五色[illegible]

[illegible]家光公[illegible]の船を見たいによつて早々品川へ廻せ』との上意、將監畏つて直樣安宅丸を品川へ廻すことになりました、處が不都合なことがあるといふのは、二百挺の艫、水夫四百人が艫を押すのでございますが何分揃ひません故船が動搖いたします、是にはさしもの向井將監も困つて船手支配頭の太田傳八郎を呼んで相談をすると、傳八郎が『船の動搖いたすのは艫拍子が揃ひ[illegible]



[illegible]

東上に付當分休院す

一月十五日

龍山 松村醫院

松村三[illegible]

有樂館

黃金館

大正館

稻荷座

浪花館

シズムラ秋コート

京城本町一丁目 電話二九一八 川合時計店

天下一品 增本酒店 仁川本町三丁目 電話一〇九番

仁川町米

十六日後場 大阪小高き入電にて當限二十圓五十六錢と寄付七錢二節中ノ七錢上十錢と跳ね先五十六錢より八錢

▲先限二十圓五十六錢七錢八錢七錢八錢三節五十六錢七錢八錢四節五十七錢六錢七錢

仁川米豆取引所

[illegible]

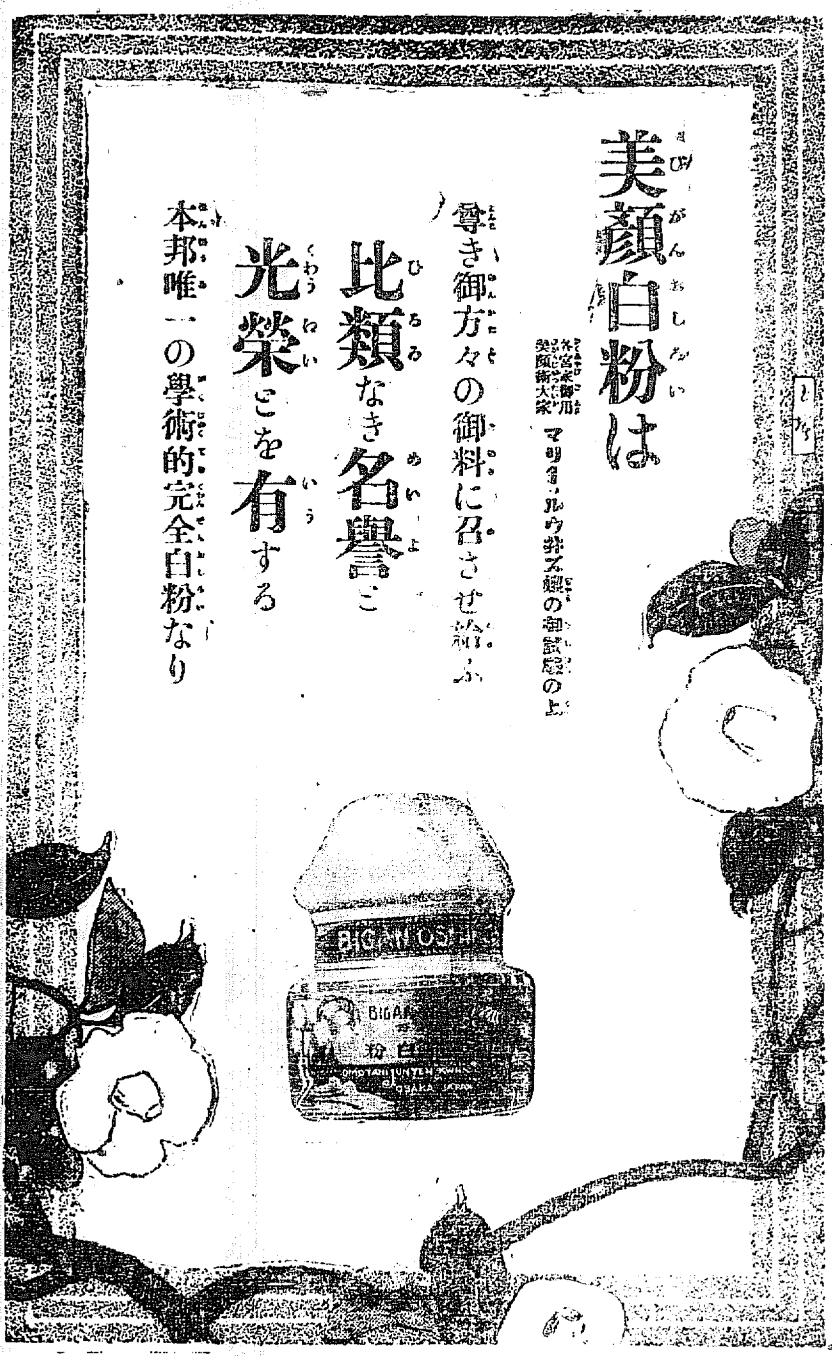
豫報

京城溫度 [illegible]

汽車時刻

京釜線(南行)　京釜線(北行)　同(南行)　同(北行)　關釜連絡　南線(南行)　同(北行)　京義線(北行)　同(南行)　京仁線　京仁線(仁川行)　京元線(北行)　同(南行)

[illegible]



美顔白粉を御用品に選定した理由

各宮家御用美容術大家　マリー・ルウヰズ嬢談

學者の創製したる……

[illegible]

すから、兎も角、その美顔白粉といふのを取寄せて調べて見ますと、[illegible]は專門の學者の創[illegible]……それからは、各宮家を始め[illegible]……美顔白粉をお勧めして[illegible]なりましたのです。それは

内國生産品獎勵の聲……

[illegible]

廣く世の御婦人方へ……

お勧め致しますのは、美顔術家の一つの[illegible]申すべきであり、それ

[illegible]にお勧めして、必ず皆様からお喜びを蒙る事と信じましたからであります。それで

妾の調べました……

美顔白粉の良い點を、皆様の御參考に申しますれば

マリー・ルウヰズ嬢

〔一〕色が特別白い事……

[illegible]

美顔白粉は[illegible]色の白い白粉はありません。

〔二〕美しい光澤がある……

事です。美顔白粉には、外の白粉に見る事の出來ない、美しい光澤があります。

〔三〕ノリとノビとが申分なく……

〔四〕容易にハゲない……

[illegible]白粉ケゲ[illegible]したりする心配もなく、[illegible]……

〔五〕皮膚の害がない……

これは中々困難な事で、大概の白粉は、多少とも皮膚を荒らす成分のあるものですが、美顔白粉には、全くその心配がありません。この點は醫學者方の斉しく認めて[illegible]居ります。

〔六〕無鉛無害なる事……

[illegible]

〔七〕顔の生地の美しくなる事……

[illegible]

「成分は、白粉と一緒になつて働いて顔の生地が美しくなる様に製へてあ」るのだと、妾には考へられました。(了)

牛乳と化粧品

牛乳の成分＝身體の營養＝皮膚の營養＝牛乳一品で種々の食物を兼ねる事＝一品で種々の化粧品の作用をする品＝牛乳と化粧品との諸注意

◇時計の針を

寸時も休ませない様にするには、[illegible]

◇赤兒は何を

[illegible]

◇白粉下として

[illegible]美顔ユーマーの中には、粘液質、白味質、蛋白質、芳香質等を適當に含有せしめ、白粉、化粧水、クリーム及び香水の効力を、本品一つで現す様な工合に出來てゐるのですから、美顔ユーマーを常用すれば、皮膚を強壯にし、色澤を美くし、容貌の美を増すのであります[illegible]

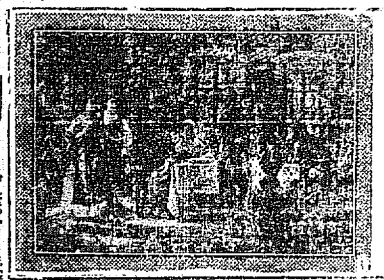
◇皮膚の營養料として一種

[illegible]

◇牛乳の成分から研究し

[illegible]の衛生、生理の上から見ても、經濟の上から見ても、少しの缺點もない唯一つの品で、數種の化粧品の効力を併せ備へてゐる様な、手輕で重寶な新しい皮膚滋養の化粧品を製造度しいものと、種々研究した結果出來上つたのが、彼の美顔ユーマーなのであります。ですから丁度、肉類、野菜類、及び魚類を食べる代りに

◇牛乳一品で



女の力

[illegible]

◇常識に外れた

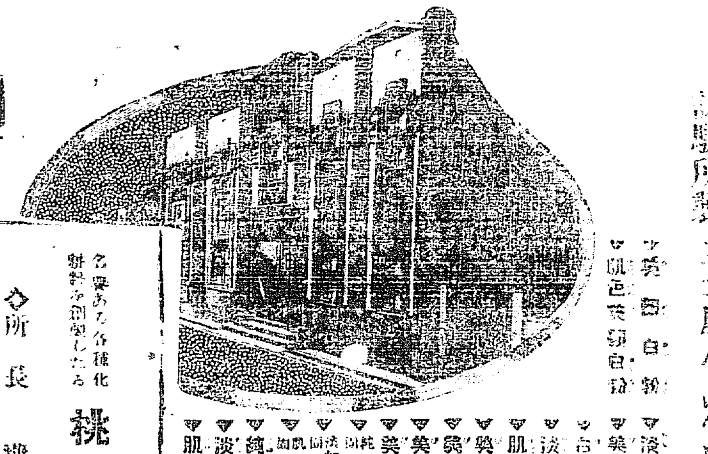
ここを言つて廣告したりする様な品に就ては充分注意を要します。それから牛乳にしても、設備のある、信用のある牧場から需るのが安全であると等しく、日日使用する皮膚營養料たる化粧品も、完全な研究の設備のある、信用の厚い製造所で出來る品を使用するのが一番です。何しろ化粧品は毎日使用するものですから、品質の惡いのを使つてゐると、長い間には、綺麗になるところか、却つて皮膚を害して顏を醜くする事がありますから、ゆめゆめ惡い品を使つては不可ません。殊に此寒い時分には餘程良い品を選ばねばなりません[illegible]

▽高貴御用品の一種

美顔クリーム

發賣早々非常な好評

[illegible]



桃谷研究試驗所の外觀

名譽ある各種化粧料を創製したる

桃谷研究試驗所

◇所長　藥學士　桃谷幹次郎
◇技師　理學士　西澤勇志智
◇同　醫學士　米倉昌達
◇同　藥學士　小磯勝次郎
◇同　藥學士　齋藤銳助
◇顧問　藥學博士　丹波敬三氏
◇同　醫學博士　山本[illegible]三氏

桃谷研究試驗所製　美顔化粧料二十二種

▽美顔白粉
▽肌色美顔白粉
▽淡紅色美顔白粉
▽美顔ユーマー
▽白色美顔水
▽淡紅色美顔水
▽肌色美顔水
▽美顔石鹸
▽美顔洗粉
▽美顔クリーム
▽純白美顔白粉(固形)
▽淡紅色美顔白粉(固形)
▽肌色美顔白粉(固形)
▽純白美顔粉白粉
▽淡紅美顔粉白粉
▽肌色美顔粉白粉
▽美顔化粧水二號
▽美顔化粧水三號
▽艶出し煉香油
▽艶出し香油
▽香水
▽白粉下用クリーム
▽頬紅
▽煉齒磨
▽齒磨
▽爪磨
▽爪クリーム
▽口紅クリーム
▽口紅
▽眉墨

品質の優秀を證する賣行の激増

美顔化粧料昨年度の製産

▽貳百萬圓を超ゆ△

昨年中(一昨年十一月より昨年十一月迄滿一箇年)に於ける美顔化粧料の製産額は、二百十六萬餘圓に達しました。一昨年度と比べると、約二倍に増した事になります。これは全く、尊き御方々を始め奉り、官、民、及び、教育家、各女學校生徒方等、すべて知識階級の方々が、學理に基礎を置く美顔化粧料の品質の優秀なる事を認められ、それからそれへと信用が擴まつた爲めであります。

斯くまで世に御信認を博し、斯くも製産の激増を見るに到りました事は、實に此上なき光榮として感謝に堪へぬ所であります。本舗は、一層新來品に讓らぬ各種化粧品を、日本國内にて創製して販賣する。本舗の任務に就て益々力を盡し、この廣大なる御信認に背かぬ事を期して居ります。

京城日報
十七日朝刊（朝夕刊併せて八頁）
第五版
本紙定價　一ヶ月金八十錢　廣告料金　五號一行金五十錢
發行所　京城大和町　京城日報社

京城日報

西伯利亞の將來

露國過激派政府は過激派政權を握りてより以來、西伯利亞各地は、過激派非過激派の爭鬪となり、混亂名狀すべからず。由來西伯利亞は露西亞の領土たりと云へ、其地位は新領土なり、植民地たるに過ぎずして、其風土物産總て本國と相同からず。一言以て之を蔽へば、西伯利亞は自ら西伯利亞たり。若し露國各地獨立するとせば、西伯利亞は、最先きに獨立自主の地域たるべき理由を有するを疑はず。

昨今西伯利亞各地過激派の跋扈を傳ふると頻々たり。然れども過激派にせよ、將た勞兵會にせよ、皆歐露の産物なるのみならず、共に一時の氣勢の下に其形を成すものに外ならずして、共に永久的質に非らず。就中過激派の如きは、單に獨逸の手先きとなりて講和を圖る爲めに、暫く其臆說を保つものに過ぎず。彼等は歐露に於てすら一時の幻影なり。其の西伯利亞に於て[illegible]を俟たずして、今日其等の勢勢を俟たずして、亞地方と何等の緣故なきは、言を[illegible]したるが爲めなり。故に若し西伯利亞にして、獨立自主の地域とならむか、彼等は最早其爲す所を知らずして、杳焉其形を收むべきや勿論なり。從つて是等實に西伯利亞人民自ら其康寧を保つ所以なるのみならず、又亞細亞全局の治平を圖る所以なり。

西伯利亞民獨立自主を願ふや、其の由來久しきものあり。昨年三月露都革命起るや、西伯利亞各地有志者は、早く既に歐露より分離すべきを主張し、昨夏各州代表者相會合して、各州合同して、一の自治的聯邦を組織すべきを協議したり。來る廿日トムスクに開くべき臨時西伯利亞會議亦治安保持の計を議するを以て、其主一任務と爲すものなりと云へば、此會議に於ても獨立自主の方案を議すべきを疑はずして、幸に同會にして、過激派の脅迫を免れ自由意思を以て、相謀議するを得ば、其成績大に見るに足るべきものあらむか。

今日露西亞は既に四分五裂の狀態に陷り[illegible]。[illegible]の組織[illegible]。[illegible]投票を行ふとも、獨逸に利[illegible]て露西亞に不利なるや言ふまでもなし、斯くして露西亞は瓦解の運命を免かるべからずとせば、西伯利亞を獨立せしむることは、獨り西伯利亞人民の爲のみならず、亞細亞人全體の利益の爲めなり。

在鄉軍人會の發展策(二)

高橋級太郎

[illegible]
一、陸海軍人の發行[illegible]
一、每年二大節に於て遙拜式、新年[illegible]式
四、戰死及公務死亡者の祭典
九、軍人精神の修養、圖書館の[illegible]
[illegible]
十、在鄉者、應召者の家族並に[illegible]
十一、會員遺族の救助
十二、在鄉軍人出獄者等の保護
十四、入營者（其の年補充兵を含む）の保護教育及び入退營者
十五、機關雜誌の普及。本會主旨の徹底
十六、徵兵檢查、簡閱點呼成績の向上
十七、地方青年團と協力し皆兵の誘掖指導
十八、地方公益事業の贊助
十九、産業の發達産業會議の改善
[illegible]
△本會の歷史
[illegible]

遊支偶錄

蘇峰生

(七)同文書院の効果

今日に於て、支那漫遊客の最も快の一は、自から支那語を解せざるも、殆んど何等の不自由なきと云ふ是也。固より解すれば、解する丈の便宜あるは云ふ迄もなし。但だ解せざるも、餘りに大なる差支を見出さゞる也。其の理由は、支那にある日本人中に、支那語を解する者多きが如く、支那人中に、日本語を解する者少からざれば也。而して吾人の訪問に値ひする程の人ならば、必らず其の身邊に、一名乃至數名の、日本語に堪能なる支那人なきはなし。僻遠の地方に於てさへも、日本語の片言位は、自から語り得る留學生上りの官吏、決して少しとせざる也。

日本人にして、支那語に通ずる人士中には、外務省の留學生や、外國語學校の出身者や、特に荒尾東方齋の、日清貿易研究所生やを遺る可らざるも。主として同文書院の出身者を數へざる可らず。古人日く十年の計は、樹を植うるにあり、百年の計は、人を教ふるにありと。[illegible]して荒尾君の功を、誠[illegible]と同時に、同文書院が、如何に多大の貢獻をなし、且つ爲しつゝあるかを、特筆せざらんとする能はず。

今日に於て、官民を問はず、凡そ支那語を必要とする所には、必らず同文書院の、出身者なきはなし。若し同文書院の出身者が、一且申合をなし、罷業同盟にてもなしたらば、如何程迷惑す可き乎。恐らくは想像も及ぶ能はざる所なる可し。予は今後に於て、同文書院の規模を、一層大ならしめ、更らに多數の學生を、收容するの道を講せんことを、希望せずんばあらず。凡そ教育の上に於て、此の如き偉大の効果を收め得たるものは、他に比類罕なる可し。

(八)日本語の開拓乎　日本の開拓乎

支那人中に、日本語を解する者の多きは、過去に於ける支那留學生の賜物也。[illegible]日清戰役後、殊に日露戰役後、[illegible]務の必要を感じ、自から進んで[illegible]の重なる人士を[illegible]心理情態を、一變して、彼等の[illegible]を喚起せしめたるで、能力には[illegible]衞公、故主岡子等、其他の努力によりて、之洞一派を首として、支那の朝野を擧げて、此の風尚を鼓舞したるに因らずんばあらず。即ち故兵[illegible]、故蔡鍔の如き、[illegible]元洪の如き、段芝貴の如き、李烈鈞の如き武人は云ふ迄もなく、即今時めく曹汝霖、陸宗輿、林長民の如き、若しくは革命黨の重なる人士の如き、概ね然らざるはなし。而して武人としては、將官階級、文官としては、知事以上、隨處に日本留學生を見出さゞるはなき也。

[illegible]支那人中に、日本語を解する者は[illegible]、何となれば今日の[illegible]、[illegible]學を[illegible]外國語の[illegible]、日支人間の會話は、支那語にあらずして、日本語にあらず[illegible]乃ち予の如きも、[illegible]の經驗より[illegible]らしたり。然も今日の[illegible]にして[illegible]或は地を掃ふに到らんやも。[illegible]支那人が、日本語を開拓しつゝあるは、日本語を開拓したりと云はんよりも、寧ろ日本を開拓したるにあらざるなき乎。吾人は[illegible]の狀に滿足するよりも、寧ろ他日の[illegible]を、豫想するを禁ずる能はず。[illegible]の生ずるは、生ずるの[illegible]に生ずるものにあらざれば也。

さうして

布施生譯

四十二

[illegible]

[illegible]大將之が組織の任に當ることゝなり同年十月明治天皇陛下の御裁可を仰ぎ伏見宮貞愛親王殿下を總裁に奉戴し同年十一月三日發會式を擧ぐるに至つた翌四十四年[illegible]陸軍大臣は地方長官に訓示し[illegible][illegible]設立の趣旨を[illegible]

武烈氏の方は一時に氣を失つた、「わ、此擧事を」と叱るやうに[illegible]

[illegible]

賣却廣告
海軍建築部支部

生徒募集
京城專修學校
入學出願期日　三月十五日
入學試驗期日　三月十八日
其ノ他詳細ハ本校ニ照會アレ

廣島縣人會
一月十九日後六時
[illegible]
會費金一圓也
右新年宴會開催候間御出席相成度候
申込所　岩田[illegible]
廣島縣人會幹事

賣却廣告
ボイラー　壹臺
圓管式經六尺長十尺
附屬品共
捲揚機　壹臺
千五十磅杵十本付
附屬品共
クラッシャー　壹臺
九時十九時
八呎旋盤
二十吋ボール盤
九磅レール　約百二十間
各種プーレー　シャフト
亞鉛浪板　約百五十坪
其他各種工場用品
京釜線鳥致院驛前
若松商會出張員

大阪屋號書店
新譯韓非子
最新刊
[illegible]

撫順炭各地販賣價格(持込賃共)

地名	炭質	一噸當り	二十四噸(一輛)	販賣人及販賣人代理店
平壤	塊炭	二三、〇〇	一、七〇	三國商會 平安商店 三井物産 中村組
鎭南浦	切込炭	二三、〇〇		西村商會代理店 濱本商店 牧野昇
元山	粉炭	二〇、〇〇		西村商會代理店 小泉商店
仁川	塊炭	二〇、五〇	一、六八	野口商會
仁川	切込炭	一九、五〇		
仁川	粉炭	一八、五〇		
龍山及	塊炭	二三、〇〇	一、七〇	三國商會代理店 西崎商店 賓榮商會 同代理店井上商店
京城	切込炭	二〇、〇〇		西口商會
	粉炭	一九、〇〇		
大田	塊炭	二一、九〇	一、七〇	大田運輸會社
大邱	切込炭	二〇、五〇		三ケ尻忠吾
	粉炭	一九、五〇		

常に御得意先の御便利を念とし致居り候も兎角炭車の貨車共依然困難にて消々ともすれば石炭の缺乏を來し思ふ樣に參らざるを遺憾と致候
京城仁川に於て每月販賣する約一萬噸の石炭の如く確實に販賣の途を開き迅速なる配給を得る事に致し[illegible]
南滿洲鐵道株式會社
鑛業部京城販賣課出張所

エクレス
腦神經衰弱
頭痛特効藥
高橋藥學博士監督の下に出來た腦神經衰弱、頭痛特効藥にして頭痛、腦神經衰弱、其他神經障害より起る諸病に驚くべき効能あり。
（定價）金二十錢　五十錢　一圓三十錢
發賣元　東京室町　泰昌製藥株式會社

謹告
花王石鹸
原料騰貴の爲め本日より
壹個に付金壹錢値上仕候
大正七年一月十七日
花王石鹸製造元　東京馬喰町　長瀨商會

●六宮御殿内の御○[illegible]

○浦鹽へ英艦派遣

英艦サッフォーク號を浦鹽に[illegible]左し向け既に同艦は目的地に[illegible]記者曰く「サッフォーク號は排水量[illegible]六吋砲十一門を有しケント型の[illegible]

○米國又英に倣はん
▽過激派との關係

米國は英國に倣ひ近く非公式に過激派との關係を設定す可しと豫期せらる(倫敦電報)

○商業會議所[illegible]

[illegible]の實業家に檄を發し獨逸にして民主的政府を組織するに非ざれば戰後獨逸と商業關係を行ふ事に反對せん事を要望したり(倫敦電報)

○帆船徵發の計畫

[illegible]手段として國內の帆船四十一萬五千噸を徵發せんと計畫中なり(紐育電報)

○談判地はワルソーか

[illegible]和睦談判地はワルソーに移る可しとの說あり(倫敦電報)

○議員露都に集合

[illegible]議員は既に各方面よりペトログラードに集合し開會を待ちつゝあり[illegible]

○佛國前首相就縛

[illegible]カイヨウ氏は[illegible]縛せられたり(倫敦電報)

●鐵市場奔騰
荏荷は漸減

十四五日頃大阪方面の買ひ進みを動機に市場は俄然局面を展開し兩[illegible]其の原因は久しきに亙る不振狀態の反動人氣も云ふ外殊更指摘す[illegible]つて砂かりし爲め其結果は丁度今以て幾分不振なりと雖仕入れが[illegible]に現はれ最近に至り入荷頓に減割高なると又目下全然禁輸品なる[illegible]來れるを以て玆許市況著しく活低落の氣先現物は依然需需方面へ[illegible]況を呈し來れるが目先在荷の漸減の實行面白からざるに着正接近と[illegible]るべしと觀測さる處に拘概して買人氣は消散せるもの〻如し(東京)

●棉花現著高

昨年十二月[illegible]綿四萬九千三百二十斤にして一月以降累計は(五年産を含む)千二百二十五萬九千〇七十斤[illegible]

□內鮮航路改善
鐵道院に航路開始

△在內鮮航路は鐵道院[illegible]せよ其他各航路[illegible]の有樣にて其不便[illegible]に航路改善[illegible]月に向上發展に往く內地對朝鮮[illegible]この航路狀態を此儘に默過し置く[illegible]は朝鮮發展上一大支障を誘引す[illegible]べき事なりと云ふべし近時朝鮮內[illegible]地の產業狀態は漸く一般人士の[illegible]目を惹くに至り產物中朝鮮米[illegible]の輸出増加せる其質の改良されたる[illegible]と共に重要產物として取扱はれ[illegible]朝鮮の時期の如き之を內地に輸送[illegible]すべく現在にては[illegible]

△斯種の方法を[illegible]、あり或は朝鮮郵船をして阪神に[illegible]直接せしむる如き其他外國船[illegible]なして試方面に航路を航せしむる[illegible]つゝの施措におでしむるが如き或は[illegible]大阪商船、尼崎汽船、五光商會[illegible]なして運賃引下げを餘儀なからしむるが如き陰に陽に有方法を考[illegible]慮施せしめつゝあるは是れ雖か[illegible]に內鮮航路の改善を其當に要求し[illegible]つゝあるものと稱して可なるべし

△現在鐵道院にて執れる[illegible]內鮮間の聯絡航路とも目せらる[illegible]べきは關釜聯絡船なりされど近は[illegible]久しく貨物より設備の[illegible]を繼續せみならず取引商人は爲に商機を逸せざるべからず(大阪)

△山陽鐵道輸送能力は[illegible]四乃至四十五に相當せざるの有樣[illegible]乃至五に相當せす而して更に下關[illegible]より阪神地方に輸送さるべき[illegible]すべき全貨物を一に關釜聯絡船に[illegible]るを以て到底不圓滑を免れざるの[illegible]

△出張員打合せ[illegible]

○湖北の戰機熟す

[illegible]

○華僑借款成立す

[illegible]

○鮮銀錢荷動

[illegible]

○水陸貨物運[illegible]

[illegible]

○元山港貿易[illegible]

[illegible]

○北[illegible]博士視察

[illegible]

□この頃　　蓮城

同餅のよく燒ける夜や寒の內
小犬を出て小犬うなるや寒の內
となりにも門締る音や寒の內
大雪や待ほみけする鍋偏飩

最新朝鮮地圖

本書は[illegible]

發行所　大阪屋號書店

工戶を代表すべき名物

柳屋の特製品

海苔　味付海苔　燒海苔　海苔佃煮

柳屋商店

王世子殿下 北門六宮御展謁

◇御言葉有りし英親の親◇

十六日午後二時四十分宗廟の御展謁を終らせられたる李王世子殿下は馬車を驅つて昌德宮に御立寄り相成り三時三十分自動車に召され北門六宮に向はせらる。齋殿に於て袞の袞龍袍に翼善冠を頂かれたる殿下は儲慶宮、景祐宮、延祜宮、宣禧宮、景祐宮の順序にて親しく酌獻の御拜をなし更らに英親の [illegible]

△御幼姊へ

お節斷

御優しき御心根

世子殿下は嚴肅なる [illegible]

御生母嚴妃の靈廟

◇御感慨深き德安宮の御展謁◇

德安宮は世子殿下の御生母嚴妃の位牌を祀られし處なり。その昔嚴妃去の報を御手にせらるゝや世子殿下には慟き悲しまれて御の近すがらも御生母の御靈を取り出だされては辭を放ちて傷を給ひ [illegible]

△御拜も涙に濕り勝ち

[illegible]

△御慈愛溢るゝ

自働音樂與

李太王殿下には成歡殿から石造殿へ [illegible] 子殿下の事を忘れ給はず何彼に御心にかけらる御親子の情 [illegible] だに殿幸に堪へざること [illegible] きが十六日の如きも世子殿下の [illegible] 起居を案じられ嘸や寂しき事に [illegible] へるならんとて近侍の者に命じ御身の御居間なる成歡殿の自働 [illegible] 器を石造殿へ移させ給ひ以つて [illegible] の徒然を慰むる事とせられたり [illegible] と流る精夜の窓より漏るゝ妙なる [illegible] 歌曲の音律にも父殿下の御慈愛や籠らん

△兄君殿下と

睦じく御物語

[illegible]

△李堈公御招宴

[illegible]

◇齋殿へ入らる＝六宮御展謁の儀を滞りなく終はられた王世子殿下が齋殿へ向はるゝところ

將校六十名を慘殺

▽セバストポール軍港にて

＝過激派水兵の暴擧

過激派水兵はセバストポール軍港に二日間に亘り海軍士官六十名を殺したり被害者中には海軍大將四名一名あり(倫敦電報)

小品畫展覽會

—越樓上に於て—

[illegible] 二十日の兩日 [illegible] 大家二百餘名の作品を陳列するものにして其の撰擇は [illegible] 現代の大家が匠紙を離れて名共手腕の揮ひしもの [illegible] 今回支那漫遊の途へ入らせるを期とし [illegible] に聊か額ち自修社改築の資料に供せんとするに在り從つて價格も [illegible] にして容易に覓むべからざる [illegible]

鹿兒島の大火

十四日夜鹿兒島縣肝屬郡牛根村大火にて六十一戸燒失せり(大阪電報)

連絡船不着か

十六日夜入港の豫定なりし [illegible] は海上風波の爲め一時間半以上延着の豫定なるも未だ除報なし(釜山特電)

猩紅熱再び猖獗

[illegible] には昨年十二月初旬より猩紅熱患者の發生あり一時蔓延して十餘名の患者ありしも歲末終熄の模樣ありしが本月に入りて再び病勢猖獗にして既に七八名の患者を出せしより市民は恟々として兒童の [illegible]

朝鮮出漁團 疑獄事件擴大

前 [illegible] 收監さる

[illegible] を始め現代の嶽家を網羅せり

京城の火事

[illegible]

職工同盟罷工

[illegible]

豚コレラ發生

[illegible]

女活辯の懲役

[illegible]

[illegible]大相撲

第四日目

[illegible]

中入後

伊勢ノ濱 對 九州山

千葉ケ崎 對 馬洋

一湊 對 黑瀨川

栃木山 對 大鳴戸

[illegible]

一湊に黑瀨川 大鳴門に栃木山

[illegible]

△七日目取組

[illegible]

△五力士休場

大潮 琴ケ浦 小常 綾ケ 龍ケ崎

番付 所見役表

[illegible]

武德館の寒稽古

武德館にては一月五日道場開きし六日より三十日間の豫定にて午後七時より寒稽古を爲し [illegible] るが出席の若殿原四五十名に猛烈に稽古を勵みつゝあり

[illegible] 一方思惑 [illegible] 日は昨冬に比し棉は十三圓より十 [illegible] 五六圓に厚板は二十三圓より三十圓に薄板は十七圓より二十一、二圓に何れも奔騰を告げたり而して [illegible] る市中の在荷豊富なりし爲人氣は軍つて沈靜に陷り昨冬に掛けて常に斷落歩調を辿り來れるが [illegible]

綿絲氣配軟弱

[illegible] 中の木浦棉花 [illegible] 四十六萬二千八百四十七斤 [illegible] 三百三十五萬四千五百六十八斤 [illegible] 二十萬八千百六十九斤なる [illegible] 來棉二萬七千六百〇六斤合計三 [illegible] に比し實棉は六百〇七萬餘斤を增 [illegible] 三十八萬二千百七十四斤外に増加したり

營業品目

肥料部 蒸製骨粉、乾 [illegible] 星印配合肥料、細工用 [illegible] 細工用蹄角各種膠及膠原料

石鹸部 化粧用石鹸、工業用、家庭用石鹸、浮石鹸、粉末石鹸 牛脂、椰子油、鯨油、其他油脂類、苛性曹達、洗曹達

京城東大門外 朝鮮肥料製造所 電話二六三五番

京城 朝日石鹸製造所 電話二九七六 [illegible]

山梅ダイナマイト

[illegible] 日本火藥 [illegible]

內科 眼科 小兒科 [illegible] 醫院

機械、電氣、建築、土木各科 [illegible] 中央工學校

貯蓄預金 [illegible]

[illegible] 中島醫院 院長 中島貞信

[illegible] ヘブリン丸 [illegible] 本舖 大阪 參天堂藥房

櫻御殿

大阪　霞の家主人

第百廿三回

二人士（一）

天満の森に秋風が一渡り靜まると、庭の山茶花に渡り鳥が鳴き交す。蕭然と物淋しい竹垣の下に、亂菊が美しう咲いて、そこに夕陽が重く沈む。その深い香りの間にも、酒の氣が流れるほど、奥の間には酒宴がつゞく。客は利右衛門、主は民部。今日で三日三夜の間、片時の止み間も無い。絶えず待つて廊下を運ぶ小姓の足に、[illegible]

『風早姓、お肴へお付いたか、[illegible]』

『さらば序にもう一献所望申す』

民部は淡々と酌しながら

『今頃はさぞお待ち兼ねでござらうぞ。今夜あたり迎ひの者を遣はしては何うでござらう』

『いやはや酩酊。毎日の御馳走で、山海の珍味も喰ひ飽き申した。この上は庭の[illegible]の鍋焼き、[illegible]料理が戴きたい』

[illegible]

は阿彌陀堂にての危急、折好くも巡り合せ、お救ひ申したとお忘れか。身共行き合して、藤五郎を和めずば、お身の命は堀江の波と消えて居よう。乃至は縲絏の耻を受けて、酒どころではなく、大牢の中に繋がれてござるであらう。その恩を忘却、舌長な挨拶、堪忍もこれまでおや。今一言云ふてお見遣れ、手前一たび此の舌を動かさば、立ちどころに捕縄が飛んで參るぞ』

民部は顔色を變へて云ふ。利右衛門は[illegible]るやうになつて『[illegible]』と云つて居たが、その中にこんな[illegible]

一方の旗頭としてまづ千石は受合ひや。すれば一人の娘御[illegible]にあのやうな苦勞させるにも及ばぬ。明日から大身の姫君で暮らされる。武士は己だけが好いでは濟まいぞ。お子様の將來も思ふて御覧じ』

民部は氣長く説き勸める

『いや、御主人、爪の垢にも時には茄子が生るさうぢやの』

『何うでござるか、手前まだ其様な話を聞いた事はござらぬが』

『はゝゝ』と大笑ひして『では、もう一献頂戴致す』

『お手前、桐島御寮が可愛くはござらぬか』

『何處であつたか、子を捨てる藪の名所は？　あの藪から恐しい虎が出ますとの』

『一向に存じ申さぬ』

『さては夫も御存じない。はゝゝ。それも御存じない、我折れ／＼』

『こりや御立腹さうな。[illegible]』[illegible]

[illegible]に存まれた』

一生[illegible]の知れる[illegible]ど申すか。武士は相互ひに存じ[illegible]には穩かぬ。お手前の心に云ひたい事も云はず堪忍を守り居る。此の胸中をお察しないか。斯様な事を露骨で云ふは野暮なものぢやが、身共に一片の義氣もなく、お手前を奉行所へ突き出したら、辻斬の罪人、討首は知れてござる。先日以來毎晩の様に承はつた辻斬の下手人、風早利右衛門と披露して、與力同心の手に渡さば、おのが身の首はころりと落ちる。いやさ首の落ちるのは兎も角も、末代までの名を穢す。[illegible]に過ぐる夜、堀[illegible]

大阪切米

▲十六日後場

▲當限寄付　二十三圓九十二錢
▲中限寄付　二十三圓八十錢
▲先限寄付　二十三圓八十一錢

八節當二十圓先五十七八錢と持合ひ四節中〆七錢先七錢を不動の儘打止めたり

▲後場當限二十圓
▲中限二十圓〆七錢六錢十錢平均
[illegible]

十六日の三月限

後寄付　二十二圓五十六錢
　　　　二十二圓五十七錢
高値　二十二圓五十八錢
安値　二十二圓五十六錢
[illegible]

大阪株式寄合

十六日　前場　後場
[illegible]

日報歌壇

土肥　露子

[illegible]

日報俳壇

水仙　―五の丁の會―　浮樓

○敬はる顔のまろき水仙の傍也　坡翁

○水仙の花びらの厚みをばゆく指先　阿岐良

○嫂紅絹のきれを散らかして水仙　華虹

○歳の水仙二三本づゝ藁でからげを

○の日が暮れ水仙に目をあてゝ息をしてをる　鳥堂

冬雜詠

塔守の烟管掃除や小六月

[illegible]

院長　醫學士　森　定吉

森病院　内科　小兒科（美容醫院改め）

京城明治町二丁目[illegible]　電話二六二三番

質　本田質店

京城太平通二丁目

嚴密精々高價御頭

京城久枝肛門病院

痔疾專門

京城明治町二丁目（本町より入）　入院隨意　電話二〇一三番

軍隊毛布

京日案内

瘡瘍淋病　撓爪堂平藥房

讀店

外交員募集

鑛物各種分析　松永分析所

りん病は毒

詐欺漢なり

花柳病　ドラッグ商會

京城南大門外

ミツワ人參錠

人參を科學的に研究して之を錠剤とせる

ミツワ人參錠　適應諸症

ミツワ雪の平

肌膚を柔潤にし色艶を麗しくする芳香健膚液

皮膚を強健清潔ならしめ、皮膚乾燥、皮膚龜裂、乳嘴の小傷、凍傷、雀卵斑、毛瘡、濕疹、鱗屑疹、面皰、汗疹、日焼等に效あり

▼皮膚を柔軟滑澤にし

皮膚乾燥、龜裂、凍傷等を治す

皮膚から出る脂肪を除き脂肪の分泌を調節し、皮膚を清潔にし脂漏、汗疹、面皰に効あり

▼肌理を細かくし

新しい皮膚をつくるから、皮膚剥脱、擦過傷、火傷、乳嘴の小傷に効き、皮膚に居る黴菌を殺し其の發育を抑へるから、白癬の類を癒し、

▼皮膚の血行を良くして

▼皮膚の色澤を麗しくし

雀卵斑、毛瘡、濕疹などにも効驗があつて、皮膚を強健に清潔にするもの故、平生朝夕の身嗜みに用ひられる。（下段參照）

尾崎汽船出帆

山本汽船出帆廣告

日本郵船出帆

共同汽船出帆

野口商會

朝鮮郵船

大阪商船株式會社　汽船出帆廣告

新荷着　懷中時計

時計、蓄音器、ミシン、自轉車、洋酒各國直輸入商

オンダレッシー商會

本店　京城本町一丁目　電話九七二番

自動車　京支部